

【銅賞】

『日本米を世界へ！二〇二〇！』

都城市立西中学校 2年 平野 晃大

二〇二〇年、東京オリンピックが開催されます。東京での開催は、一九六四年の大会以来、五十六年ぶり二回目、冬季の長野オリンピック以来二十二年ぶりの日本でのオリンピックになります。

オリンピックが開催されると、世界中からたくさんの選手が日本を訪れます。そして、たくさんの人々が選手を応援するためや、試合観戦のために日本にやってきました。また、各国のテレビ局や、新聞社など、たくさんの報道関係者も日本に滞在することになります。オリンピックの開催期間中は、このようにたくさんの外国人が日本で過ごすことになります。

こんなに多くの外国人が日本を訪れることは、普段はなかなかありません。だから、僕は、オリンピックの機会に日本を訪れるたくさんの人達に、日本のいいところをたくさん知ってもらいたいです。

日本には、外国の人達に見てもらいたい場所がたくさんあります。自然豊かな美しい景色や歴史的な立派な建物、現代的な建造物など、この機会に見てほしいと思います。

また、日本には、美味しい食べ物がたくさんあります。お寿司やてんぷら、ラーメン、丼物、とんかつなどが外国の人達に人気だそうです。

その中でも僕は、日本の美味しいお茶を外国の人達にぜひ食べてもらいたいです。

日本以外にも、世界の国々や地域で、様々なお茶がつけられ食べられています。僕も何回か、外国のお米を食べたことがあります。だけど、僕はやっぱり日本のお米が、一番美味しく感じるし、日本のお米が一番好きです。炊きたてのほかほかの、湯気の上がる真っ白なご飯に、明太子をのせて、味付けのりで巻いたおにぎりは、僕の好物です。

日本のお米は、外国のお米と比べて、つぶが短く、炊くと粘り気があり、柔らかいです。外国では、一年に二回、三回とお米が栽培される場所もありますが、日本では、ほとんどが年に一回栽培されます。農家の人達が、手間ひまかけて、大切に育ててくれた日本米です。外国のお米は、大量に作られ、自分の国で消費した残りは輸出されています。それに対して、日本のお米は、ほとんどが、日本国内で消費されます。だから、日本の米を外国の人達に食べてもらう機会は、あまり多くありません。

そこで、二〇二〇年に開催される東京オリンピックは、たくさんの外国の人達に、日本の美味しいお米を食べてもらう絶好の機会だと思います。

僕は、オリンピック会場などで、小さなおにぎりを選手や観客などに、無料で、配ったり、安くて販売したりして、たくさんの方々の外国の人達に、日本のお米の美味しさを知ってもらえたらいいなと思います。一度食べれば、日本のお米の美味しさは、外国の人達にも、きつと伝わると思います。

二〇二〇年、日本の農家の方々が、大切に大切に育てた、日本のお米の美味しさが、世界中に伝わるといいなと僕は思います。